


身近な梅田川の 自然再生をめざして

[環境社会実験]未来プロジェクトin仙台

NPO法人水・環境ネット東北 2023.6.10



背景1

「多自然川づくり」の定義

多自然川づくりとは、河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うことです。（国土交通省HPより）

→「多自然川づくり」はすべての川づくりの基本（1992年～）

小さな自然再生（collaborative nature restoration）

- ・小規模で速やかにかつ低コストで行うもの。手づくり型の自然再生。
- ・日曜大工感覚で仲間と共に手軽に取り組める。

→北海道～九州まで、全国で様々な取り組みが行われている。

- ・仮設魚道の設置、手づくり魚道、バープ工（水制工）の設置、ビオトープづくり など

背景2

竜ノ口溪谷（広瀬川合流部）と梅田川の切欠き魚道


- ・ 2019年竜ノ口溪谷、2022年梅田川に全国初の切欠き魚道が設置された。
- ・ 仙台市（河川課）と土木研究所で、魚道を含めた多自然川づくりに関する研究の覚書が結ばれた。



2021.1.11 梅田川 荒巻三番堰



2022.10.29 魚道の様子



目的

- 梅田川は仙台市内を流れる小河川で、身近な川です。
- 梅田川には魚や水生昆虫などが多く生息しています。（アブラハヤ、オイカワ、ギンブナ、タモロコ、モツゴ、ドジョウ、ギバチ、オオヨシノボリ など）
- 2022年、荒巻本沢にある堰に切欠き魚道が設置され、魚類の上下流の往来が可能になりました。
- 「魚道は作ったら終わりではなく、様々な自然条件に合わせてメンテナンスを繰り返し、良い魚道を作っていく必要がある。」林田寿文さん（土木研究所 自然共生研究センター）
- 仙台における市民参加による小さな自然再生活動のきっかけ作りとなることを目的とします。



事業内容 イベントの開催と調査

- 7月上...現地踏査および水辺の整備（草刈りなど）
- 7/22(土)「生きもの調べ隊（生きもの観察会&魚類調査）」
- 7月下...環境DNA調査（魚道の上下流2カ所で採水→種組成の分析）
- 8月...梅田川利用調査 3箇所程度×2回
- 10月上...現地踏査および水辺の整備（草刈りなど）
- 10月...「生きもの調べ隊（観察会&魚類調査）」
環境DNA調査（魚道の上下流2カ所）
- 随時...魚道モニタリング

地図



魚類調査



2022.8.5 観察会イベント

◆ 自然観察会 & 魚類調査

- 身近な梅田川に親しみをもってもらう。親子、学生、関心のある方 など
- 魚道の効果を調べる。（2022年オイカワの遡上が確認されている）
- 環境DNA調査による魚道の上下流における生息魚類の確認、季節変化の把握

梅田川の利用実態調査

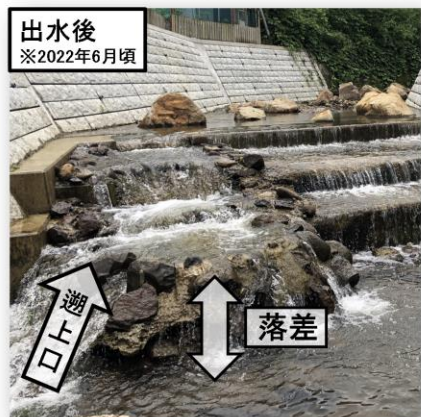
- 8月頃...3箇所程度（調査地点の選定）×2回、日中
- 利用内容（水遊び、昆虫採集、散歩など）、人数、時間を記録
- 状況写真

水辺の整備・魚道のモニタリング

●魚道の補修作業

2022年5月に切欠き魚道を設置した後...

出水後
※2022年6月頃



・出水による下流側の洗掘


補修作業の実施
※2022年8月



・下流側への礫積み

- 水辺に近づきやすい環境づくり
- 必要に応じて魚道の簡単な補修作業 など

伊藤 峻氏（宮城教育大学棟方研究室）発表資料より



期待する効果

- 梅田川の実態把握...魚類相、魚道の効果、利用状況
- 水辺に近づきやすい場所づくり、イベントによる機会の創出
- 市民参加型の魚道と周辺の維持管理
- 上記の活動から、今後の進め方や枠組みづくりを検討していく



実施体制

- 主催：NPO法人水・環境ネット東北
- 共催：仙台リバーズネット・梅田川
- 協力：カワラバン（菅原正徳さん）、宮城教育大学 棟方研究室
- 管理者との連携：仙台市河川課および青葉区公園課
- 地域の方、川に関心のある市民